



生活クラブ風の村 2011 年度事業報告(抜粋)

全事業共通の課題

1. 社会福祉法人の社会的使命として地域福祉に貢献します。

- 生活クラブ千葉グループとの連携強化に向けて、各団体とともに、生活クラブ版地域福祉活動計画を策定しました。2012年3月に「生活クラブ版地域福祉活動計画報告会」が開催されました。また各事業所が、自治会・町内会、地区社協などの地域の活動に積極的に参加しました。
- 生活クラブ風の村の強みを活かした地域活動支援センターの新規事業所や既存事業への併設を検討しましたが、新たな実施には至りませんでした。引き続き、多様なニーズに対応する地域資源を作りだしていくことを検討します。
2011年夏に、千葉市稲毛区園生団地に、生活クラブいなげビレッジ虹と風をオープン、生活クラブ虹の街、VAIC コミュニティケア研究所(以下 VAIC-CCI)、(株)生活サポートクラブ、ワーカーズコレクティブ千葉県連合会と連携して運営にあたり、モデル地域として地域資源創出を進めました。
- 生活クラブの専門性を地域に提供し、地域福祉への理解を進めるため、生活クラブ虹の街との共催で認知症サポーター養成講座を開催、生活クラブ千葉グループの団体・地域住民にも呼びかけて、県内各地で11回実施、373名の参加がありました。
- ユニバーサル就労の促進では、「社会システム」として千葉県内に広めるため、ユニバーサル就労システムづくりワークショップのメンバーを中心に、2012年1月に「ユニバーサル就労ネットワークちば」を立ち上げました。
- 厚生労働省の補助事業に応募、採択され「ユニバーサル就労」「ユニバーサル農業」の取り組みに補助金を活用しました。

2. 多様なインフォーマルサービスの創出を図ります。

- 生活クラブ風の村、生活クラブ虹の街、VAIC-CCI、ワーカーズコレクティブ千葉県連合会、千葉県高齢者生活協同組合の5団体および評議員が参加して、インフォーマルサービス創出プロジェクトを設置しました。県内各地域のインフォーマルサービスの既存実施状況やニーズを把握した上で、プロジェクトから新たに4つのインフォーマルサービスを創出しまし

た。

- インフォーマルサービスの事業は採算性が低く、また新規事業の立ち上げには資金が必要となるため、地域福祉支援積立金を活用した助成を行い、各団体での事業運営を支援しています。
- インフォーマルサービス創出プロジェクトについて、千葉県地域支え合い体制づくり事業補助金交付申請を行い、採択されました。各事業ならびにプロジェクトの運営経費として活用しました。

3. ケアサービスの質を高めます。

- 自立支援の観点に立ったケアを行うため、リハビリテーション体制の強化が必要と考え、8月に生活クラブ風の村で働く理学療法士、作業療法士と、それぞれが所属する各施設の施設長による意見交換会を行い、今後全ての介護職員がリハビリテーションの視点に立ったケアを実践していくための施策を検討しました。
- 24時間365日の対応に向けた体制整備を進め、介護ステーション光ヶ丘、介護ステーションさくら、介護ステーション船橋で24時間訪問介護を開始しました。デイサービスセンターさくらも11月から日曜開所となりました。あかとんぼ稲毛、デイサービスセンター稲毛は365日営業でオープンしました。
- 行政区ごとの戦略構築を探るため、インフォーマルサービス創出プロジェクトにて、生活クラブ風の村各事業所職員と、各地域で活動するワーカーズコレクティブ、千葉県高齢者生活協同組合のスタッフにアンケートを実施しました。この調査結果は行政区ごとに集約し、インフォーマルサービス創出プロジェクト会議内で共有、地域ごとの課題やニーズを踏まえた上で、新たなインフォーマルサービスを創出しました。
- インフォーマルサービスとの連携を図るために、ケアマネジャーに向けたインフォーマルサービスの理解を深める研修は事業所ごとで実施しましたが、インフォーマルサービスを盛り込んだケアプランの作成研修は実施に至りませんでした。
- 在宅生活を支えるため、通い、訪問、泊まり、医療系サービスなどを備えた複合拠点の整備を進めました。

■苦情解決システムの充実に向けて、2011年11月に「苦情解決に関する規程」を改定、苦情解決第三者委員を、「訪問相談員」(入居・滞在型の事業所を訪問して苦情を受け付け、調査提言を行う)、「専門員」(それ以外の事業所を担当し、苦情を受け付けるとともに調査提言を支援する)として配置しました。この活動も2年目に入り、利用者と顔なじみになり訪問時に気軽に話ができる関係ができました。

4. 組織運営の革新

■職員の運営参画を強めるために、所長会議において、職員の意見を運営に活かせる会議運営システム、理事会、評議員会への職員代表の参加などを検討しましたが、具体化には至りませんでした。

■事業所の組織マネジメント力をアップするため、所長向け「組織マネジメント研修、コミュニケーションスキル研修、部下育成のための目標設定研修」を行いました。

5. 人材育成、人材確保のためのシステムを構築します。

■24時間365日化への取り組みを行うため、2011年6月の法人全体研修で理事長より、地域包括ケアシステムについての話を聞き、理解を深めました。

■専門性を高めるため、「ICFの視点に基づく自立支援のプランづくり」研修を、外部講師を招いて、居宅と訪問の共同で実施しました。また、認知症介護指導者研修体系を整備し、全ての職員の認知症介護スキルの底上げを図りました。

■特養ホーム八街を、介護系人材育成拠点とする体制を整えるため、2012年度採用者には1年間の研修を周知したり、住居の確保などの準備を進めています。

■生活クラブ風の村全体で統一したサービスを提供するため、業務マニュアルの定着、実行を目的とした自主監査を実施するための自主監査室を設けました。3年間で全事業所を一巡するスケジュールとし、2011年度はサポートハウス、あかとんぼ、とんぼ舎、訪問看護ステーション、ライフ&シニアハウス市川で実施しました。

■人材育成・人材確保のため、労働条件の改善に取り組みました。管理職や医療職の賃金を見直し、24時間365日化に対応する人材を確保するため、夜勤専任常勤ワーカーの賃金設定や土日祝日手当てを見直しました。

■ユニバーサル就労が進む中で、それにあわせ職場

環境を整えています。

■「生活クラブ」というブランディングを有効活用するために、2013年度は新卒採用時期を一般企業と同じく、12月求人公開、1月から毎月説明会、入職試験を実施する形式に変更しました。

■専門職はもちろん、事務職も含めた全職員が、より高い専門性を獲得し、自らの業務のスキルアップや専門職への道をつくるために、資格取得支援規程を新たに制定し、金銭面での補助制度を設けました。

6. 環境を保全し、持続可能な循環型社会づくりに取り組みます。

■事業所単位で、環境への配慮・省エネ・コスト削減を意識し、身近なところから環境への配慮を心がけていますが、生活クラブ風の村全体での取り組みには至りませんでした。

■食の基本姿勢では、食材だけでなく、消耗品等も環境に配慮した商品を使用することを定めています。この基本姿勢に沿って、使用購入する物品を選択することとしていますが、現状は各事業所の判断に任せています。

■生活クラブ虹の街の取り組む、地球温暖化防止に向けた活動、脱原発社会を目指した活動、資源循環型社会を目指した活動に参加し、「さようなら原発1000万人アクション」の署名に取り組みました。

7. 災害対策

■東日本大震災の教訓をもとに、正確かつ迅速な情報収集・共有・選択から行動に移すことができるよう、災害対策プロジェクトを設置、「災害対策指針・災害時の職員行動ガイド」の見直しに取り組んでいます。

■東北地方への支援のため、東日本大震災支援ネットワークちば、共同支援ネットワークのメンバーとして、カンパの実施とボランティアの派遣を行っています。



8. 新規事業

■UR 都市機構の千葉市稲毛区園生団地建て替えに伴う空き地において、生活クラブ虹の街、VAIC-CCI、(株)生活サポートクラブ、ワーカーズコレクティブ San、ワーカーズコレクティブまどれーぬと連携し、生活クラブいなげビレッジ虹と風の運営が始まりました。生活クラブ風の村は 8 月から、訪問介護、居宅介護支援、高齢者専用賃貸住宅、ショートステイ、訪問看護、診療所、デイサービス(高齢・児童)の運営を行っています。生活クラブ千葉グループの諸団体と連携した地域包括ケア拠点を目指しており、注目を集めています。

■特養ホーム八街では、2011 年 7 月より、特養 30 床、ショートステイ 10 床の増床を行いました。

■生活クラブ風の村さくら全体の使い勝手改善、事務所機能の混雑から、現在の生活クラブ風の村さくら第 4 駐車場に一部機能を移転することを検討してきました。重症心身障害者通所事業所の新規開設とあわせて、活用方針を検討しています。

■在宅介護支援センターあいの手(我孫子市)は、2012 年度から地域包括支援センター受託のため、1 年間、職員の派遣を行いました。

■老朽化しているデイサービスセンター柏の移転検討を前提に柏市内の事業所の複合化の可能性を検討してきました。生活クラブ風の村光ヶ丘の隣地活用については、近隣との関係でデイサービスは事業化できなかったため、新たにサポートハウス光ヶ丘隣地第三期工事準備室を立ち上げて検討、併設事業

として計画していた小規模多機能型居宅介護が、柏市の平成 23 年度地域密着サービス事業者に応募し選定されたため、訪問看護ステーションも併設することで、高齢者専用賃貸住宅(サポートハウス)、小規模多機能型居宅介護(小規模多機能ハウス)と併せて切れ目のない介護の体制を目指し、小規模多機能ハウス光ヶ丘を 3 月 5 日にオープンしました。

■市川市を中心に路上生活者の自立支援を行っている NPO 市川ガンバの会では、これまで支援してきた方々の高齢化、地域に低所得者が独居困難になった場合の受け入れ施設が少ないという現状を受け、軽費老人ホーム開設準備委員会を立ち上げ、生活クラブ風の村もメンバーとして参加し、議論を重ねてきました。今後は風の村が事業主体となり、建設準備会を設置、2013 年度の完成を目指しています。

■千葉県から、児童養護施設新設の公募がありました。生活クラブ風の村では、近年増加している被虐待児の受け入れは社会福祉法人が本来担うべき役割であるとの認識とともに、真に子どもたちの尊厳を守る施設運営が可能ならばと人材発掘に努めた結果、運営候補者との出会いに恵まれたこともあり、応募したところ採択されました。君津市糠田地区で、2013 年 4 月での開設準備を進めています。

■流山学童クラブの指定管理公募が流山市であり、検討した結果、既存の事業所であるわらしこ保育園流山の近隣であり、卒園後も関わりがもてる可能性があること、保育園運営の実績を活かしながらの運営が見込めることなどから応募、指定管理者に決定しました。

事故報告 (2011 年 4 月～2012 年 3 月累計)

※()内は事業所数	不履行	遅刻	対人	物損	個人情報漏洩	その他	合計
訪問介護・ケアプランセンター(9)	11	14	9	25	1	16	76
デイサービス(4)	0	0	13	0	0	1	14
相談事業(3)	0	0	0	0	0	2	2
保育園(2)	0	0	4	0	0	0	4
障がい児・者 日中活動支援事業(4)	3	0	2	1	1	5	12
地域生活支援事業(1)	0	0	0	0	0	0	0
生活クラブ風の村八街 【訪問/特養/ショート/デイ/管理部】	4	1	223	2	1	2	233
生活クラブ風の村光ヶ丘 【訪問/居宅/サービス付高齢者向け住宅/小規模多機能型居宅介護】	1	0	2	0	2	0	5
生活クラブ風の村さくら 【訪問/居宅/ショート/デイ/訪問看護/管理部】	1	2	12	1	1	3	20
生活クラブ風の村いなげ 【訪問/居宅/サービス付高齢者向け住宅/ショート/デイ/訪問看護/障がい児・者 日中活動支援/診療所/鍼灸院】	4	3	26	2	1	5	41
高根台つどいの家 【訪問/居宅/サービス付高齢者向け住宅/小規模多機能型居宅介護】	4	1	12	1	0	0	18
ライフ&シニアハウス市川	0	0	88	2	1	34	125
本部	0	0	0	0	1	0	1
合計	28	21	391	34	9	68	551

2011年度決算報告

1. 事業・資金収支の状況

収入は、特養ホーム八街増床（7月開設）、いなげビレッジの大型施設（8月開設）の開設があり前年度より大幅な増収となりました。しかし、震災の影響で開設時期が遅れたこと、当初計画より大幅な収入減になったことから、法人全体の収支差額は前年より大幅な減少となりました。支出については、2つの大型施設開設により施設整備等支出が大幅に増加、借入金も増加しました。その中で、ライフ&シニアハウス市川運営受託においては、順調な収支状況となり、これまでの累積赤字を一掃し、開設時に借入した収益事業会計元入金を返済できました。前年の繰越収支差額から地域福祉支援積立（26,000千円）を行い、一方地域福祉支援等のための取り崩し（18,876千円）を行いました。その他将来のために、修繕積立金や施設・設備積立金の積立を行いました。

項目	事業活動収入	前年比	事業活動支出	前年比	経常収支差額	前年比
計画	2,898,657		2,844,383		24,056	
実績	2,886,363	119.1%	2,848,060	123.2%	15,795	16.1%
予算比	99.6%		100.1%		65.7%	

2. 貸借対照表（2012年3月31日現在）

単位：千円（千円未満切捨て表示）

資産の部		負債の部	
流動資産合計	553,272	流動負債合計	388,306
現金・預金	81,625	短期運営資金借入金	98,000
未収金	462,707	未払金	192,333
立替金	5,400	施設設備等未払金	1,024
前払金	3,057	預り金	34,691
貯蔵品	367	前受金	3,081
その他流動資産	115	仮受金	0
固定資産合計	3,256,871	賞与引当金	59,176
基本財産合計	2,236,613	固定負債合計	1,929,424
建物	2,074,196	設備資金借入金	1,595,194
土地	162,417	長期運営資金借入金	135,788
その他の固定資産合計	1,020,258	長期預り金	178,703
建物	412,745	退職給与引当金	19,738
構築物	165,309	収益事業元入金受金	0
機械及び装置	7,366	負債合計	2,317,730
車両運搬具	3,451		
器具及び備品	108,381	純資産の部	
土地	33,373	基本金の部	
建設仮勘定	1,036	基本金	112,455
権利	16,352	基本金	112,455
ソフトウェア	23,554	国庫補助金特別積立金	934,046
投資有価証券	11	国庫補助金等特別積立金	934,046
長期預け金	47,408	その他の積立金	182,304
収益事業会計元入金	0	修繕積立金	119,987
施設・設備整備積立金	27,955	施設・設備整備積立金	27,955
修繕積立預金	30,012	地域福祉支援積立金	33,324
保育所繰越積立預金	89,975	建設積立金	1,036
地域福祉支援積立預金	33,324	次期繰越活動収支差額	263,606
定期積立預金	20,000	(うち当期活動収支差額)	11,664
資産合計	3,810,144	純資産の部合計	1,492,413
		負債及び純資産の部合計	3,810,144

3. 資金収支計算書（2011年4月1日～2012年3月31日） 単位：千円（千円未満切捨て表示）

勘定科目		予算	決算	
経営活動による収支	収入	介護保険収入	1,876,847	1,808,585
		自立支援費等収入	296,220	322,779
		療養費等収入	29,650	29,647
		運営費収入	144,831	144,831
		私的契約利用料収入	6,735	6,890
		ヘルパー講座事業収入	2,400	2,537
		受託事業収入	3,539	290
		入居者の生活援助受託収入	265,032	264,432
		入居者の生活援助収入	30,563	36,281
		建物貸付事業収入	11,955	12,986
		経常経費補助金収入	175,687	182,885
		寄付金収入	664	2,201
		雑収入	12,602	28,442
		就労支援事業収入	1,368	1,308
		借入金利息補助金収入	872	812
	受取利息配当金収入	593	993	
	会計単位間繰入金収入	18,584	18,584	
	経理区分間繰入金収入	55,103	55,103	
	経常収入計	2,933,252	2,919,595	
	支出	人件費支出	2,030,988	2,028,033
事務費支出		391,348	384,771	
事業費支出		285,601	264,490	
借入金利息支出		31,684	24,314	
会計単位間繰入金支出		18,584	18,584	
経理区分間繰入金支出		55,103	55,103	
経常支出計	2,813,310	2,775,298		
経常活動資金収支差額	119,942	144,296		
施設設備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	82,154	78,631
		固定資産売却収入	0	18
		施設整備等寄付金収入	0	0
		元入金回収収入	20,000	20,000
	施設整備等収入計	102,154	98,649	
	支出	固定資産取得支出	1,012,021	1,015,056
元入金返済支出		20,000	20,000	
施設整備等支出計	1,032,021	1,035,056		
施設設備等収支差額	▲929,866	▲936,406		
財務活動による収支	収入	借入金収入	869,795	865,100
		借入金元金償還補助金収入	3,250	3,250
		積立預金取崩収入	18,876	18,876
		その他の収入	0	1,881
	財務収入計	891,921	889,107	
	支出	借入金元金償還金支出	67,862	66,010
		投資有価証券取得支出		1
		積立預金支出	51,000	70,999
		その他の支出	23,549	27,736
		流動資産評価減等による資金減少額等	137	483
財務支出計		142,549	165,230	
財務活動資金収支差額	749,371	723,877		
予備費	34,000			
当期資金収支差額合計	▲94,553	▲68,232		
前期末払資金残高	292,375	292,375		
当期末払資金残高	197,821	224,142		

2011年度決算報告

1. 事業・資金収支の状況

収入は、特養ホーム八街増床（7月開設）、いなげビレッジの大型施設（8月開設）の開設があり前年度より大幅な増収となりました。しかし、震災の影響で開設時期が遅れたこと、当初計画より大幅な収入減になったことから、法人全体の収支差額は前年より大幅な減少となりました。支出については、2つの大型施設開設により施設整備等支出が大幅に増加、借入金も増加しました。その中で、ライフ&シニアハウス市川運営受託においては、順調な収支状況となり、これまでの累積赤字を一掃し、開設時に借入した収益事業会計元入金を返済できました。前年の繰越収支差額から地域福祉支援積立（26,000千円）を行い、一方地域福祉支援等のための取り崩し（18,876千円）を行いました。その他将来のために、修繕積立金や施設・設備積立金の積立を行いました。

事業活動収支計算書概略（2011年4月1日～2012年3月31日） 単位：千円

項目	事業活動収入	前年比	事業活動支出	前年比	経常収支差額	前年比
計画	2,898,657		2,844,383		24,056	
実績	2,886,363	119.1%	2,848,060	123.2%	15,795	16.1%
予算比	99.6%		100.1%		65.7%	

2. 貸借対照表（2012年3月31日現在）

単位：千円（千円未満切捨て表示）

資産の部		負債の部	
流動資産合計	553,272	流動負債合計	388,306
現金・預金	81,625	短期運営資金借入金	98,000
未収金	462,707	未払金	192,333
立替金	5,400	施設設備等未払金	1,024
前払金	3,057	預り金	34,691
貯蔵品	367	前受金	3,081
その他流動資産	115	仮受金	0
固定資産合計	3,256,871	賞与引当金	59,176
基本財産合計	2,236,613	固定負債合計	1,929,424
建物	2,074,196	設備資金借入金	1,595,194
土地	162,417	長期運営資金借入金	135,788
その他の固定資産合計	1,020,258	長期預り金	178,703
建物	412,745	退職給与引当金	19,738
構築物	165,309	収益事業元入金受金	0
機械及び装置	7,366	負債合計	2,317,730
車両運搬具	3,451	純資産の部	
器具及び備品	108,381	基本金の部	
土地	33,373	基本金	112,455
建設仮勘定	1,036	基本金	112,455
権利	16,352	国庫補助金特別積立金	934,046
ソフトウェア	23,554	国庫補助金等特別積立金	934,046
投資有価証券	11	その他の積立金	182,304
長期預け金	47,408	修繕積立金	119,987
収益事業会計元入金	0	施設・設備整備積立金	27,955
施設・設備整備積立金	27,955	地域福祉支援積立金	33,324
修繕積立預金	30,012	建設積立金	1,036
保育所繰越積立預金	89,975	次期繰越活動収支差額	263,606
地域福祉支援積立預金	33,324	（うち当期活動収支差額）	11,664
定期積立預金	20,000	純資産の部合計	1,492,413
資産合計	3,810,144	負債及び純資産の部合計	3,810,144

3. 資金収支計算書（2011年4月1日～2012年3月31日） 単位：千円（千円未満切捨て表示）

勘定科目		予算	決算			
経営活動による収支	収入	介護保険収入	1,876,847	1,808,585		
		自立支援費等収入	296,220	322,779		
		療養費等収入	29,650	29,647		
		運営費収入	144,831	144,831		
		私的契約利用料収入	6,735	6,890		
		ヘルパー講座事業収入	2,400	2,537		
		受託事業収入	3,539	290		
		入居者の生活援助受託収入	265,032	264,432		
		入居者の生活援助収入	30,563	36,281		
		建物貸付事業収入	11,955	12,986		
		経常経費補助金収入	175,687	182,885		
		寄付金収入	664	2,201		
		雑収入	12,602	28,442		
		就労支援事業収入	1,368	1,308		
		借入金利息補助金収入	872	812		
受取利息配当金収入	593	993				
会計単位間繰入金収入	18,584	18,584				
経理区分間繰入金収入	55,103	55,103				
経常収入計		2,933,252	2,919,595			
支出	支出	人件費支出	2,030,988	2,028,033		
		事務費支出	391,348	384,771		
		事業費支出	285,601	264,490		
		借入金利息支出	31,684	24,314		
		会計単位間繰入金支出	18,584	18,584		
		経理区分間繰入金支出	55,103	55,103		
		経常支出計	2,813,310	2,775,298		
経常活動資金収支差額		119,942	144,296			
施設設備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	82,154	78,631		
		固定資産売却収入	0	18		
		施設整備等寄付金収入	0	0		
		元入金回収収入	20,000	20,000		
		施設整備等収入計	102,154	98,649		
		支出	支出	固定資産取得支出	1,012,021	1,015,056
				元入金返済支出	20,000	20,000
施設整備等支出計	1,032,021			1,035,056		
施設設備等収支差額		▲ 929,866	▲ 936,406			
財務活動による収支	収入	借入金収入	869,795	865,100		
		借入金元金償還補助金収入	3,250	3,250		
		積立預金取崩収入	18,876	18,876		
		その他の収入	0	1,881		
		財務収入計	891,921	889,107		
	支出	支出	借入金元金償還金支出	67,862	66,010	
			投資有価証券取得支出		1	
			積立預金支出	51,000	70,999	
			その他の支出	23,549	27,736	
			流動資産評価減等による資金減少額	137	483	
財務支出計	142,549	165,230				
財務活動資金収支差額		749,371	723,877			
予備費		34,000				
当期資金収支差額合計		▲ 94,553	▲ 68,232			
前期末払資金残高		292,375	292,375			
当期末払資金残高		197,821	224,142			